

校長室の窓

富谷市立明石台小学校
校長室だより NO.10
令和4年2月18日(金)発行

聞き（聴き）上手な みなさんに

早いものです。2月に入ったと思っていたら、もう折り返しが過ぎました。春はそこまで来ていると感じながらもまだまだ寒さが厳しい日々が続いております。本校も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学級閉鎖や学年閉鎖の措置を取りました。この週末も引き続き感染症対策にご協力お願いいたします。今月の朝会で子供たちに話したことを紹介いたします。

2月になりました。宮城県では、新型コロナウイルス感染症対策で緊急特別要請というのが出ました。そこで明石台小学校の皆さんともう一度確認したいことがあります。まずは、早寝早起きなど規則正しい生活を送ること、バランスの良い食事を心がけること、元気に遊んだり運動したりして体力づくりをしっかりとしましょう。そして、もう一度手洗いの仕方を確認し、しっかりと手を洗うこと、換気をしっかりとすること、ソーシャルディスタンスを意識すること、正しくマスクを着用することをしていきましょう。体調がおかしいと思ったら、すぐに伝えるようにしてくださいね。

冬休み明けの朝会では、餅の話をして、「時と場合」を考えて正しく判断できるようにと話しました。できていますか。

明日は立春。暦の上では春となりますが、まだまだ寒い冬は続きそうです。けれど、これからの寒い冬は、春に向けて大きく成長するための準備期間です。春に大きな美しい花を咲かせるために、刻一刻と進む時間を大切にしながら、一つ一つの努力を積み重ねて、この寒い冬の間しっかりと力をつけて蓄えておきましょう。

今日はもう一つ、《力をつけるために大切なこと》をお話しします。

では、まずはじめに漢字の問題です。

【耳】と【目】と【心】を【+（足す）】と、何という漢字になるでしょうか。

正解は、『聴く』です。

下学年のみなさんにはとても難しい漢字みたいですが、よく見ると、みなさんが知っている漢字の組み合わせでできていますね。

「きく」という漢字は、ほかにもあります。上級生のみなさんがよく知っているのは、『聞く』ですね。

どのように使い分けるかというところ、「聞く」には、【耳】しかありません。【目】がありませんから、よそ見をしていても「聞く」なのです。

一方、『聴く』は、【耳】のほかに、【目】と【心】があります。人の話を【耳】だけで聞くのではなく、【目】や【心】で聴くのです。

まず、【目】で聴くということ。それは、人の話を【耳】だけで聞くのではなく、話をする人に体を向けて【目】でしっかりと見て、その人はこれから「どんなことを言うのかな」と、その人に気持ちを近づけて聴くということです。

次に【心】で聴くということ。それは、「へえそうなんだ」と、心の中でつぶやきながらうなずいたり、お話ししている人が「一番お話ししたいことは何かな」「自分に一番聞いてほしいことは何かな」ということを探したり想像したりしながら、相手の話を分かろうとする気持ちで、その人に心を寄せて聴くということです。

ですから、きちんとお話を聴いている人は、【目】も真剣で話をしている人の方を向いていますし、【心】で聴いている人は自然とうなずきながら聴いています。

授業中はもちろん、学校生活の中では、いろいろな場面で先生やお友達の話聞く機会がたくさんあります。【耳】だけではなく、【目】も【心】も働かせて、しっかり話が聴けるようになると勉強がよく分かるようになります。そして、話をしている人もうれしくなってお友達とももっと仲良くなれると思います。

まずは、【目】でしっかり話を聴くことのできる『聴き方上手』のみなさんを目指して、先生とお友達みんなで頑張る、そんな2月にしていきましょう。